



# 高座環境通信

【第20号】

平成28年11月29日  
編集発行：高座清掃施設組合  
総務課 総務係



## 第3期 ISO14001 更新審査を受審しました

平成25年10月20日に認証更新を受けてから3年が経過し、4回目の更新審査が平成28年9月15日、16日の両日で行われました。その後、10月5日に行われた環境マネジメントシステム評価判定委員会において、当組合の環境マネジメントシステムが有効に機能しているのか判定が行われ、有効に機能していると判定されました。

AM16A1227  
2016年(平成28年)10月5日

高座清掃施設組合 御中  
(お客様番号:3002891)

株式会社 日本環境認証機構  
代表取締役社長 立上 和男  
〒107-0052  
東京都港区赤坂2-2-19  
アドレスビル  
TEL (03) 5572-1722  
FAX (03) 5572-1733

更新審査結果通知書

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、この度、2016年10月5日に行われた環境マネジメントシステム  
評価判定委員会において、貴組合の環境マネジメントシステムが有効に  
機能していると認められました旨、ご連絡申し上げます。

敬 具

記

1. 判定結果 : 合格

2. 組織の名称 : 高座清掃施設組合

3. 適用規格 : ISO14001:2004・JIS Q14001:2004

4. 判定結果の根拠 : 審査最終日に提示し合意の上、審査部でレビュー、承認された「審査報告書」に記載の審査結果に基づいて行っております。  
また、「審査報告書」には変更はありません。  
是正処置の必要があった場合、その是正処置の内容につきましては、審査部にて確認されています。 以上

JACO

様式MA0313F02  
(1/1)

JACO  
Japan Audit and Certification Company  
for Environmental Fields

高座清掃施設組合 様

審 査 報 告 書

ISO 14001:2004(JIS Q 14001:2004)  
更新審査(拡大)

審査結果の受理及び確認 日付: 2016年 9月 15日

(組織 署名) 鈴木 聡 (JACO 署名) 沢野 志

3002891 本報告書の所有権は、(株)日本環境認証機構に帰属します。  
組織が本報告書を公開する場合は、本報告書全体を公開する必要があります。(部分的な公開は厳禁です。)

株式会社EAO315F02 (1/8)

ISO 14001	審査報告書
-----------	-------

3000931

組織名称及び代表者 高座清掃施設組合 事務局長 清水 孝之 様	報告書作成日 2016年 9月 10日
所在地(登録サイトの筆頭住所) 〒 943 - 0417 神奈川県海老名市本郷(番地の1)	審査の種類 更新審査 (拡大) 審査チーム(審査員氏名) リーダー: 浜野 忠 審査員: 永田 崇一 森 尚雄
登録範囲 一般廃棄物(ごみ、し尿)の中間処理、埋め立てを終了した最終処分場及び焼却残渣を利用した付帯設備の維持管理	登録番号 E004J0298 (登録日) 2004年 10月 20日
適用規格 ISO 14001:2004(JIS Q 14001:2004)	有効期限 2018年 10月 19日
認定機関 <input checked="" type="checkbox"/> JAB <input type="checkbox"/> JKAS	判定委員会申請予定日 2016年 10月 5日

**I. 審査チームの結論**  
組織のマネジメントシステムはシステム拡大部分も含め規格要求事項に適合し有効に実施されていると判断し、認証の更新を推奨します。

【組織との合意事項(付帯条件等)】  
特になし。

**II. 審査所見経緯**

1) 概要  
当組織は、ごみ中間処理施設、し尿処理施設、最終処分場が認証範囲でしたが、2016年4月から屋内温水プール及び本郷老人福祉センターが認証範囲に加わりました。職員は88名です。2004年10月20日に初回認証登録され、今回4回目の更新審査に該当します。組織の環境マネジメントシステムは、この3年間継続的に維持・改善されていると確認しました。また、1年次及び2年次の定期サーベイランス審査報告書に対する組織の対応状況をレビューし、有効性を確認しました。

2) 要点:

- 法的及びその他の要求事項の遵守に関するシステムとパフォーマンス  
環境側に設置する法規制等が拡大されたサイトを含め適切に維持・管理されています。従業員増進法、大気汚染防止法、下水道法等について抜き取りにて測定データ、契約書、検査票、現場を確認しましたが所定の運用がされていました。
- 目的・目標に関するシステムとパフォーマンス  
平成27年度は5項目の目的・目標に取組み全て目標を達成しました。平成28年度は目的・目標を5項目から10項目に増やし、範囲に推移しています。効果的な環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に取り組まれています。
- 内部監査の実施、有効性  
定期内部監査は平成28年1月25～29日に拡大されたサイトも含め実施されました。指摘事項は不適合は無く観察事項が10件でした。観察事項が10件については是正処置が実施されました。規定に合った内部監査であることを確認しました。尚、本年、新たに6名の内部監査員が育成され監査体制の強化が図られています。
- マネジメントレビューの実施、有効性  
定期マネジメントレビューは平成28年7月26日に実施されました。インプット情報は規定に則り提供されており、アウトプットにおいては、周辺基本整備計画に基づき整備推進のための施策・手段を明確し目的・目標に照らして、整備及び人事業務に即した環境管理事項にすること、監査測定結果を本業務での報告で事足りるように報告方法の検討が指示されています。今後の環境マネジメントシステムの方針性が的確に指示され、指示事項に対する処置も適切に対応されています。

(2/6)

JACQ

3) 課題及び次回審査の着眼点:  
2015年版への移行。

4) 修正及び是正処置の要求:  
修正及び是正処置を要求する不適合はありません。

**III. 収集した情報及び証拠の評価**  
環境マネジメントシステムの継続的改善とその実施については、文書類の整備及び実施状況、ドキュメント、各階層へのインタビュー、現場及び記録類により確認できましたので、妥当であると判断します。

・環境マネジメントシステムの有効性については、排水、排ガス、廃棄物処理等の順守項目並びに高効率省エネルギー施設などの建設、事業系ごみの物入量削減等の自主向上項目を中心にサンプリングした結果、いずれも関連文書、記録、インタビューなどによって確認できましたので、妥当であると判断します。

**IV. 組織の活動範囲に対する確認事項**

1) 登録組織名及び住所等は、別紙「登録組織名称及び認証範囲等確認書」により確認

2) 認証の範囲に対するマネジメントシステムの関連性及び適用可能性  
認証範囲の変更 無し 有り

3) 組織のマネジメントシステム文書の状況  
環境管理マニュアル 第16版 2016年 7月 27日

**V. 前回審査で特定された不適合についてとられた処置**  
1件の不適合は是正されており、有効に実施されています。

**VI. 認証の引用及びマークの使用状況(初回審査を除く)**  
適切 不適切

**VII. その他**  
・特記事項  
特になし。

・審査計画書の引用: 既に配付している審査計画書との変更無し  
既に配付している審査計画書との変更有り

本報告書の所有権は、(株)日本環境認証機構に帰属します。  
組織が本報告書を公開する場合は、本報告書全体を公開する必要があります。(部分的な公開は認めず。)

# 花の里高座だより

## 周辺環境の自然再生業務

周辺環境の自然再生研究の活動として、6月11日に地元住民と共同して、ビオトープ等、周辺の潜在的な自然環境の復元を目指した計画の一環としてホテル観賞会を実施しました。

これからも自然再生研究を行っていきます。





## グリーンカーテン(植物のカーテン)の実施

省エネ促進、夏の節電対策として、植物を建物の外側に生育させることにより、建物の温度の上昇を抑える「グリーンカーテン」を実施しました。

省エネに役立ち、ひいてはCO<sub>2</sub>削減にも繋がる取り組みを今後も続けます。



## 緩衝緑地帯緑化整備

高座清掃施設組合敷地内の緩衝緑地帯について、環境美化の観点から草花を植付し、花壇として維持管理しました。

これからも緩衝緑地帯の緑化整備を行っていきます。

